

県老健 平成23年度 第3回看護部会研修会 アンケート集計結果

研 修 日 : 平成23年10月18日(火)

会 場 : ウィリング横浜5階
研修室501・502号室

テ ー マ : 看護研究発表会

演 題 : 13演題

参 加 人 数 : 97 名

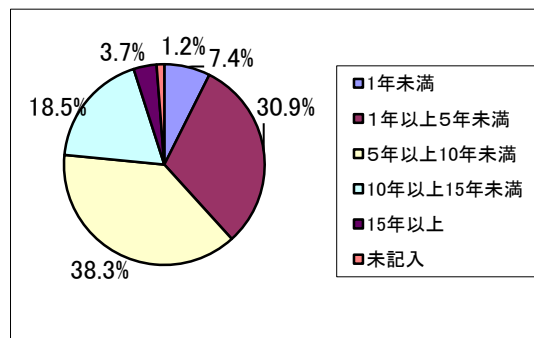
集計枚数 81 枚

集計日 平成23年10月19日

☆ 参加者について ☆

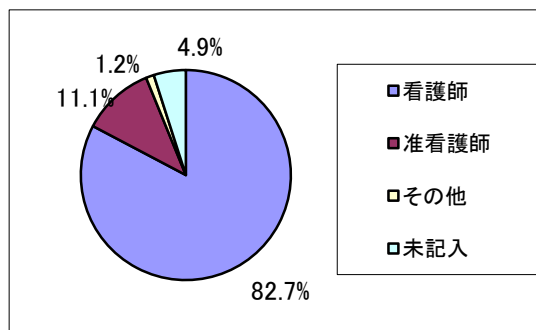
①老健施設 経験年数

1年未満	6 名	7.4%
1年以上5年未満	25 名	30.9%
5年以上10年未満	31 名	38.3%
10年以上15年未満	15 名	18.5%
15年以上	3 名	3.7%
未記入	1 名	1.2%



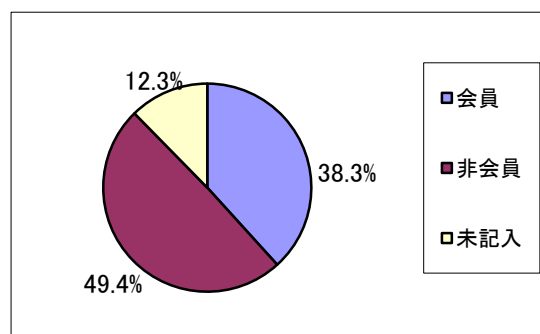
②職種

看護師	67 名	82.7%
准看護師	9 名	11.1%
その他	1 名	1.2%
未記入	4 名	4.9%



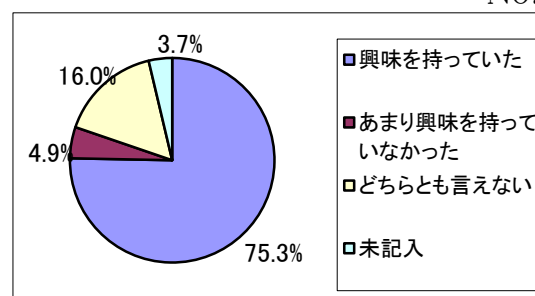
③看護協会入会の有無

会員	31 名	38.3%
非会員	40 名	49.4%
未記入	10 名	12.3%



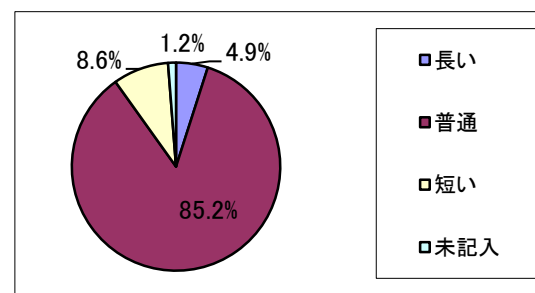
1.研修について

① 興味を持っていた	61名	75.3%
② あまり興味を持っていなかった	4名	4.9%
③ どちらとも言えない	13名	16.0%
④ 未記入	3名	3.7%



2.研修時間について

① 長い	4名	4.9%
② 普通	69名	85.2%
③ 短い	7名	8.6%
④ 未記入	1名	1.2%



① 「長い」と答えた方の理由

- ・ 症例数が多いため、1回の時間が少なく、詳細がわかりにくい。
- ・ 1席毎に時間を決めて実施しないと、オーバーします。
- ・ 演題が多かった。

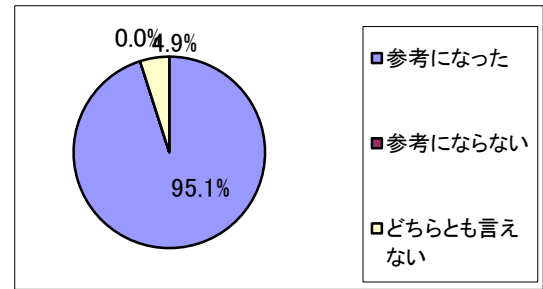
② 「普通」と答えた方の理由

- ・ 質問時間がもう少しあると良かったです。
- ・ 業務を持っているため、ちょうど良い。
- ・ 間に休憩が入っており、時間的にはちょうど良いと思った。
- ・ 職場が近いので、午前中勤務して研修に参加できる。
- ・ AM仕事、PM研修 → 直帰できる時間ありがたい。

③ 「短い」と答えた方の理由

- ・ 質問時間がない。
- ・ 1日、午前中から開いてほしかった。
- ・ 質問時間がもう少しあった方がよいのでは。時間に追われているようでした。
- ・ もう少し詳しく内容を知りたかった。
- ・ それぞれが内容が濃く、もう少し深く聞きたいと思った。
- ・ 質疑応答時間が短い。
- ・ 1つ1つの事例について、多くの質問をしたかった。

① 参考になった	77名	95.1%
② 参考にならない	0名	0.0%
③ どちらとも言えない	4名	4.9%



①「参考になった」と答えた方の理由

- ・利用者への対応にはいろいろな方法があるということ。
ツールとして利用すれば、何でもできるのだなと思いました。
- ・同じ悩み・課題を持つ老健の集まりで、日常の仕事と重ね、イメージしやすい。
- ・看取りの導入が必要なことを痛感
- ・看取りを決めるのは、やはりしっかりしていれば本人…でも老健であると、なかなか本人がどこで亡くなりたいかは決められない。
家族が決めても、いざ亡くなったときの心の“ゆれ”これで良かったのか…どこでも問題になるところである。そのためにはというところを各施設・老健における看取りのあり方を考えていく必要があると感じた。どの時点でターミナルをとるのか、というのも難しい。
また、介護士の受け入れに対しての教育も必要となってくる。問題点が山ほどあると実感している。
家での看取りというのも、家族の都合もあるだろうが、いいなあ…実現させてあげたいなあ…と思った。
- ・ナーシングセラピーは勉強して実践していきたい。
- ・経管栄養から経口移行への内容で、評価をどのようにしていけば良いか、参考になりました。
- ・『センナ茶』初めて聞きました。ターミナルケアの意見も大変参考になりました。
- ・自宅での看取り症例、とても勉強になりました。
- ・看取りを実施に向けているため、とても参考になりました。
- ・経験が浅いため、非常に勉強になりました。
- ・身近で働いていることだったので、反省して考えることが多かったです。
- ・老健の状況がよく現れていました。それぞれが参考になりました。
- ・看取りについて、病院と違い、生活の場としての看取りとはどのようにしたら良いか参考になった。
- ・看取りを在宅へ進めて行けて、少なくとも実施されることは本来の理想ケアになっているようで良かったと思う。
- ・当施設は看取りを行っていないので、とても参考になりました。
- ・老健看護師の着目するテーマにより、安心した生活の提供を感じました。
何よりも、入居者に向けての“ケア”を考える力が必要と学びました。
- ・施設で取り組みたいと思う内容が数件あり、参考となった。
また、取り組みを考えている事例があったため、参加させていただいた。
- ・どの施設の発表も、現在自分たちが悩んでいたり変えていこうと思っていることや、やりたいと思っていることが含まれていたため、これからの取り組みとして参考にしたいと思う。

- ・【人生の最期を我が家で】在宅での看取りまで考えが及ばなかったもので、参考になりました。看取ること自体、まだまだ施設では十分でないのもっと充実させていきたいと思います。
- ・看取りについて、施設の方向性を検討中なので、他施設の取り組みは大変参考になった。
- ・看取りに関して、今取り組もうとしているので、とても参考になりました。
- ・老健における問題は、どこの施設でも同様な問題を抱えているため、今後の参考になりました。
- ・新しい知識が得られた。
- ・日々仕事をする中で、共通する事例ばかりであった。短く省略された部分をゆっくり聴けると良かった。
- ・看取りケアなど、現在ある問題について参考になった。
- ・老健施設の看護師のみの研究発表は初めてであったため、他所がどのような取り組みをしているかの動きがわかった。
- ・今回、看取りのテーマが多くあり、今後取り組んでいかななくてはならない部分なので、在宅復帰と背中合わせの両立ができるか悩みます。
- ・まだ看取りに踏み切れずにいたので。
- ・似たようなフィールドで働いている方々の視点・考えは、とても参考になりました。
- ・自分たちが行なっている看護が正しいと改めて把握できた。
- ・とても興味深い内容が多く、業務の中で疑問に思うことを他施設でもいろいろと考えていることがわかった。
- ・自分の施設でも気になっていたこと(下剤・看取り) BPSDへの対応
- ・当施設においても慢性痛や便秘の方が多く、共感できたので。
- ・日々の業務の中で、様々な事柄、ケア内容や職場環境に着目している。
- ・センナ茶で排便コントロールの事例
- ・看護師として十年以上続けていて、「患者・利用者⇔Ns」と相互関係、また施設看護師としての役割を改めて考える機会をいただいた。
- ・排便コントロールに常に苦労していた。今後センナ茶を試してみたい。
- ・自宅での看取りについて、考えさせられた。
問題・課題をクリアして援助されている姿に胸を打たれた。
- ・看取りは興味深かった。
青葉の丘の発表は、もっと聞きたくなった。自宅での看取り、目からうろこでした。
- ・取り組んでいる内容、職場としての悩みなど、共感できることが多かった。
研究発表としての関りを通し、考察から得たものを自施設で考える料となった。
- ・老健での看取りは大きな課題と思われるため、参考となる情報を取り入れることができ良かった。

③「どちらとも言えない」と答えた方の理由

- ・参考になった部分もあったが、日常業務の中で携わっていることに大きな違いがなかった。

4.意見・感想

- ・ありがとうございました。発表内容・進行・会場ともに、とても良いものでした。
- ・老健施設の役割、看護師の活動がよくわかりました。
看護師として目標・目的を持って働きたいと思います。
- ・パワーポイントを使っているが、1回の時間が短いため、活用されていなかったと思う。
看取りに取り組まれている老健の方の前向きな姿勢、参考にしていきたいと思いました。
- ・大変参考になった。看取りの内容は、刺激的でした。
自分の、老健での立っている位置が客観的に見る事ができた。
- ・貴重な時間をありがとうございました。
- ・今回、看護師による研究発表で、同じことを悩み、多くを考えていることもわかり、元気をいただきました。
- ・会場の広さ・環境良かったです。
- ・各職種が共通認識を持つ再確認しました。
- ・看取りのサポートを自宅へという点では、新たな展開であると感じた。
- ・当苑でも積極的に研究に取り組んでいきたいと考えます。
- ・【人生の最期を我が家で】自宅での看取りについて、すばらしかったです。
感動しました。涙が出ました。
- ・今回初めての看護師による研究発表はとてもよかったと思います。
これからは老健の看護師の役割が重要であると再認識させられました。
生活場面での看護師がどれだけ専門性を発揮できるかという思いでした。
- ・これからの老健のあり方は、どうあるべきか。病院ではない？でも医療は必要。金銭的にも大変。
自分の今まで考えていたものと違い、気持ちの切り替えが必要だと思いました。
- ・今後、老健がどうあるべきか、どのようなことに取り組んでいかなければならないかを、改めて考えていかなければならないと強く感じました。
- ・自らの経験と看護師のプロとしての発表は、心を打たれました。仕事として過ごしている時間ですが、いつ自分に振りかかるかわかりません。私の親にしてあげたいケアを目指したいと新たに思いました。
老健におけるターミナルを真剣に考えなくては行けないと、更に思いました。
- ・どの発表も興味深く聞かせてもらいました。
このような会が定期的に行なわれることで、各施設の援助・技術の向上につながり、また利用者に対する認識が良い方向に変わっていくのではないかと思います。
- ・看取りは行なっていません。
発表を聞く前は、施設での看取りに対し、マイナスイメージが強くありましたが、「死」の捉え方、家族との関りの事例を聞き、もっと勉強したいと思いました。
- ・どの施設も高齢者の“生を支える・死を考える”を深く考えていて、また頑張ろうと思えた。
ありがとうございました。
- ・いろいろな老健が、いろいろな取り組みをしていることに感心しました。忙しいと思いますのに、みんな入所者さんたちを大切にしていると思いました。

- ・ 看取りに関する研究発表は素晴らしいものがあり、感動しました。
- ・ 皆様、日々、研究・努力されていることに感激。
- ・ ソフィア都筑の発表について、家族の声としてとらえました。
看取る方へ家族にはなれないけど、家族にとって支えとなれるよう、頑張っていこうと思います。
ありがとうございました。
- ・ すごく、ためになった。考えさせられた。他1名。
- ・ 一題に対する持ち時間が少し短い。
- ・ 各施設での取り組みが理解できました。施設に合わせて活用していきたいと思います。
- ・ 発表方法は特に問いませんが、時間はある程度一定が良いと思いました。
- ・ 他施設での研究の取り組みを伺い、感動しました。自施設でも今後できたらいいと思います。
- ・ どの施設も、看護師・介護士不足の中、皆様取り組まれ、大変お疲れ様でした。
今回の発表テーマ・内容を参考に、当施設も頑張っていこうと思います。
スタッフの皆様もお疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・ 今回、特に看取りの内容が素晴らしく、看護師として生きてきたことに誇りが持てました。
ありがとうございました。
- ・ ① バリデーシヨンの効果を改めて確認することができて、大変参考になりました。
バリデーシヨンの具体的な方法について、もう少し詳しく聞きたかったのと、
1症例では説得力があまりないと感じました。また実施の中で、「根気よく聞く」とありますが、
実際どの位の時間聞いて「根気よい」とされたのでしょうか。
- ・ ② 私も病院で同じような研究をしました。
スタッフの感染対策への意識向上は、とても評価が難しいものだと感じているのですが、
この研究では、どのように評価されたのでしょうか？
また、研究として感染が減ったとする根拠は、統計ツールを用いて出されているのでしょうか？
もう少し研究目的を絞り込んだ方が良かったと思いました。
- ・ ③ 経過の所に、言語訓練・発声練習とあり、恐らくはこれをST(言語聴覚士)の代わりに看護師が
したということなのだと思いますが、具体的な方法を伝えていただけた方が、より参考になったと
思いました。また、家族を巻き込んだケアにはできなかったのでしょうか。
これだけ全職種が連携できたなら、Faも介入してもらおうべきだったように思います。
(最後の方で、家族の喜ぶ発言もあったので。)
- ・ ④ もう一度踏み込んだ結果が欲しかったです。
「わかりやすいマニュアル」「統一した指導」は、皆そうであるべきと、すでに思っています。
どうすればこれらが実現できるかが聞きたかったです。
- ・ ⑤ 研究目的が慢性painを緩和したいのか、それとも処置を削減したいのか、Dr.指示受けの
流れを見直したかったのか、よくわかりませんでした。
- ・ ⑥ センナ茶で、自然排泄を試みるという考えが、とてもすばらしくできることなら実践したいと
思いました。とても参考になりましたが、認知棟など、対象の方々の同意が困難な場では
どうしたら良いのか、疑問を持ちました。
- ・ ⑦ マンパワー、時間さえあれば、是非参考にして、取り入れたい研究でした。
「心身を癒す」ということは、評価がとても難しく、まして高齢者(特に認知症のある方)では、
もっと客観的な評価方法が必要と感じました。
例えば、対象者の言動だけでなく、睡眠時間に焦点を当てるなどした方が、研究として
深みが増したと思います。また、プライバシー保護の点について、文中に記載がなく、
同意はどのように得られたのか、気になりました。

- ・演題をもう少し減らして、質疑応答にきちんと答えられる時間が欲しい。
「後ほど」と言っても、結局聞けずに終わってしまうため。
- ・老健施設での看取り？と思っていましたが、今回いろいろな発表を聞いて、とても考えさせられました。
今後、たくさんの施設で看取りを行なっていくことと思いますが、その施設でできることを考え、1つ1つ課題をクリアできるようにしていく必要があると思いました。
- ・看取りなど、経験値の少ないことに対して、情報を得ることができてよかったです。
- ・看護の向上にみなさん頑張っていると感じました。
考えさせられる事例が多く、また感動したこともあり、良かった。
事例発表を受け、施設も同じことができていることで安心感を得た。
- ・看護研究ではあるものの、症例数が少なく、科学的な根拠が得にくいと思います。
- ・今後、施設に戻り、センナ茶を試してみたいと思えるような発表でした。
他の方の演題もとても良かったです。
- ・【人生の最期を我が家で】施設で看取りをしているが、最期は自宅という選択肢が増えました。
- ・とても良い刺激になりました。多忙な業務にうもれてしまって、わざと感覚をマヒさせている自分がいることに気付き…今夜は反省です。
- ・看護研究に興味はあってもなかなかテーマを決められず…といった悪循環になっています。
また、発表機会も少ないため、尻ごみしてしまいます。
今回の発表を参考に、今後研究について、取り組んでいきたいと思います。
- ・各施設で様々な看護研究をされていて、常に問題意識を持って命を守るケアに結びつけていきたいと思います。
- ・家族の満足を考えた援助は、目からうろこです。
看取りケアは常に感動するものですが、今日は更に感動しました。
- ・同じ悩みを持っている施設・同じような課題を持っている施設を知り、勇気をもらった。
勤務をしながらの研究、及び発表、頭が下がる。
- ・ターミナルケアについて、勉強になりました。
- ・自宅での看取り(青葉の丘)、家族との信頼がなくてはできないことだと思います。
とても良い演題でした。感動です！
- ・室内の温度が高すぎて不快でした。
- ・お疲れさまでした。実践にすぐ活用できる研究があり、楽しかったです。
明日にも実践したいと思います。「看取り」今、考え中です。とても勉強になりました。
- ・看取りケアの発表は本当に勉強になりました。
- ・内容はとても勉強になりましたが、演題数が多すぎ、それぞれの発表の印象が薄くなってしまいました。
一度に同じ場で発表するには、結果として課題が残りにくくなってしまったと思いました。
- ・他施設でも、当施設と同様の悩みなどがあることがわかりました。
今日の研究で成果があった事柄を、当施設でも実践できるようにしていきたい。
- ・老健での看取りのほかに、自宅での看取りがあることを知りました。
- ・今回、テーマがあって(ターミナル)考察しやすかったです。

5.今後希望される研修、取り上げてほしいテーマなど

- ・ 宗教家などの勉強会を望みます。
- ・ ①事故 ②食事
- ・ 看介共に、入所者の生活援助に取り組み、入所者のQOLが向上している、又は認知症の中核・周辺症状の改善に取り組まれたことがあれば、研修を行なってほしいと思いました。
- ・ 入職者に対してどのように教育しているか？！
- ・ 排便コントロールなど、どの施設でも抱えている問題を共感できるといいです。
- ・ 急変時の対応
- ・ 介護員の教育について
- ・ 病院に入院してもいいような重症と思えるような人が入居している。老健での看護について。
- ・ 老健看護師に必要な技術・知識、それに伴って事故など発症した場合
⇒医療行為(看護師判断でできる範囲)病院と違って医師が常時いないことによるものなどを取り上げていただきたい。
- ・ 在宅復帰をどのように進めているのか。特に認知のある方の家族へのアプローチ。
- ・ ①在宅復帰に向けての看護支援
②老健施設の看護師と在宅(訪問看護)との連携など、取り上げて頂きたいと希望致します。
- ・ ①キャリアアップシステム キャリアアップパス 人事考課について
②11/1の看護協会災害研修にもれました。再演、お願いできませんか。
- ・ 夜間の不穏や不眠、それによるコールや排尿の回数増加をなるべく薬を使わずに無くしていく(夜間良眠できる)には、どうすれば良いのか、教えてほしいです。
- ・ 身体拘束についての取り組み
- ・ 高齢者のフットケア(爪、巻き爪など)
- ・ リラクゼーション方法
- ・ 内容もですが、曜日の設定が毎回火曜日なので出席できない。
今回は発表があったので、入所検討会を調整せざるを得なかった。
- ・ 在宅復帰への取り組みについて
- ・ 発表テーマをひとつに絞り、数を少なくしてシンポジウム的な形をとった研修も有意義になるように思いました。
- ・ 経口移行あるいは維持に関するもの。
- ・ ①ターミナルケア
②W/C上に座り続けている利用者への改善。遂随して、両下肢EDに対しての改善
③重度認知症へのアプローチ
- ・ 研究について、研究とはもう一度手法を含めて勉強したいと思います。
- ・ 中間施設として多々の疾病をかかえている利用者がいらっしやいます。
医療保険も使えない中、施設での治療はどこまで行なえるか、行なっていけるか。
また、今後、行政が老健の医療保険の使用を可能にしていく方針があるか、とても気になるところです。

- ・ 看取り(老健での)。看護・介護のスキルUP。教育全般。
- ・ 看取りに対してのマニュアル、教育研修 → 評価など、他施設のそれぞれ詳しい情報。
- ・ 介護職との関わり
- ・ ①BPSD 具体的な取り組み
- ②老健ならではの、褥瘡・創傷処置・スキンケア